

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1334 号	氏名	藤原 謙吾
学位審査委員	主 査 田中 悟郎 副 査 佐藤 克也 副 査 大西 真由美		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、映像提示方法の違いにおける上肢の運動イメージ（Motor imagery：MI）課題中の大脳皮質領域の脳血流動態を、近赤外線分光法（Near-infrared spectroscopy：NIRS）を用いて検討しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 健常成人 66 名を反転映像なし群 23 名、他人の手の反転映像提示群 20 名、自分の手の反転映像提示群 23 名の 3 群に無作為に割り付け、左手で箸を使用してブロックを運搬する MI 課題中の脳活動を、NIRS を用いて比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、自分の手の反転映像を提示することは、映像を提示しない場合や、他人が遂行している映像を提示する場合と比較して、MI の鮮明度を高め、MI 課題中の運動関連領域の脳活動を活性化することが明らかとなり、今後の研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、運動イメージに関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			